

教育研究業績書

2024年 5月 1日

氏名 高田 由利子

研究分野	研究内容のキーワード	
1. 芸術学	音楽療法、即興音楽、表現の自覚性、教育プログラム	
2. 情報学	メディア・リテラシー、情報倫理、アクティブ・ラーニング	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
1) 「音楽療法のためのオリジナル曲集- だれかの音がする」 “マレットで何ができるかな?” “冬の朝”	平成22年	音楽療法における臨床場面での適用や、授業での教材として使用するため楽曲を提供した。 編者：鈴木祐仁
2) 「目で聴いて、耳で観る”表現アート教材」	平成28年	特別支援学校における芸術授業のための単元開発
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
	平成18年11月	1) 表現アーツセラピー1 & 2 : ワークショップ」東京音楽大学付属高等学校 講師 東京 (2006)
	平成19年2月	2) 高田由利子: 「音楽・ひと・ところを考える」 (株)河合楽器製作所 カワイ音楽療法セミナーVol.6 講師 静岡 (2007)
	平成19年10月	3) 「質的研究方法について考えるー『現象学』を例にとり、データ収集から分析までの過程を学ぶ」洗足学園音楽大学付属音楽療法研究所内部研修会 講師 川崎市 (2007)
	平成19年11月	4) 高田由利子: 「表現アーツセラピー1 & 2 : ワークショップ」東京音楽大学付属高等学校 講師 東京 (2007)
	平成20年11月	5) 尾形由貴・高田由利子: 「学外音楽療法実習へと繋げる学内教育について」洗足学園音楽大学付属音楽療法研究所内部研修会 講師 川崎市 (2008)
	平成20年1月	6) 高田由利子: 「音楽を暮らしに役立てる」「音楽のまち・かわさき」推進協議会 公開講座 講師 川崎市 (2008)
	平成20年5月	7) 高田由利子: 「みんなで作る音楽広場」神奈川県立三ツ境養護学校 講師 神奈川 (2008)
	平成20年10月	8) 高田由利子: 「高齢者ヘルスプロモーション: 認知症高齢者における音楽療法」アーツセラピー総合企画研究所 講師 東京 (2008)
	平成20年11月	9) 高田由利子: 「表現アーツセラピー1 & 2 : ワークショップ」東京音楽大学付属高等学校 講師 東京 (2008)
	平成21年11月	10) 高田由利子: 「ミュージック・セラピー (2回)」上智大学心理学特殊講義V (クリエイティブ・アーツ・セラピー) 講師 (2009)
	平成21年11月	11) 高田由利子: 「表現アーツセラピー1 & 2 : ワークショップ」東京音楽大学付属高等学校 講師 東京 (2009)

事 項	年月日	概 要
	平成22年1月	12) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」クラシック・ヨコハマ2010 横浜市 (2010)
	平成22年9月	13) 高田由利子：「音楽療法概論」「現象学における質的リサーチ」宮城音楽療法研究会 第54回特別例会 講師 仙台市 (2010)
	平成22年11月	14) 高田由利子：「ミュージック・セラピー (3回)」上智大学心理学特殊講義V(クリエイティブ・アーツ・セラピー) 講師 東京 (2010)
	平成23年6月	15) 高田由利子：「音楽療法の4つのアプローチをめぐって- 各理論の特徴・長所・短所について-」日本音楽心理学音楽療法懇話会 第280回講習会 シンポジスト 東京 (2011)
	平成23年8月	16) 高田由利子：「医療現場におけるコミュニティ・ミュージックセラピー (CoMT) の展開と可能性をめぐって」国立音楽大学夏期音楽講習会音楽療法講座 シンポジスト 東京 (2011)
	平成23年10月	17) 倉石聡子・神宮京子・高田由利子：「ワークショップ：仮面」クリエイティブ・アーツ・セラピー フェスティバル2011～象徴～ N-CAT(Network of Creative Arts Therapists) 東京 (2011)
	平成23年10月	18) 高田由利子：「音楽療法講座」芸術療法愛媛セミナー アーツセラピー総合企画研究所 講師 松山市 (2011)
	平成23年11月	19) 高田由利子：「表現アーツセラピー1&2：ワークショップ」東京音楽大学附属高等学校 講師 東京 (2011)
	平成23年12月	20) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」クラシック・ヨコハマ2011 横浜市 (2011)
	平成23年12月	21) 高田由利子：「セッションにおける目標の設定について」いのミュージックラボFUN 研究会 講師 千葉 (2011)
	平成24年1月	22) 高田由利子：「平成23年度 文化芸術による地域づくり事業横浜アートサイト2011報告会」公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 発表者&シンポジスト 横浜市 (2012)
	平成24年5月	23) 高田由利子：「音楽セラピー講座 (5回)」独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 講演会講師 愛知 (2012)
	平成24年10月	24) 齋藤朋子・高田由利子：「クリエイティブアーツセラピーのための留学体験情報」N-CAT(Network of Creative Arts Therapists) セミナー 講師 (2012)
	平成24年10月	25) 高田由利子：「表現アーツセラピー1&2：ワークショップ」東京音楽大学附属高等学校 講師 東京 (2012)
	平成24年12月	26) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」クラシック・ヨコハマ2012 横浜市 (2012)
	平成25年1月	27) 高田由利子：「平成24年度 文化芸術による地域づくり事業横浜アートサイト2012報告会」公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 発表者&シンポジスト 横浜市 (2013)
	平成25年2月	28) 高田由利子：「表現アートセラピー：ワークショップ」東京都立総合芸術高校 研修会 講師 東京 (2013)

事 項	年月日	概 要
	平成25年3月	29) 高田由利子：「認知症高齢者における音楽療法-即興音楽アプローチによる心と音楽のつながりについて」 NPO法人ハートワークス 講師 前橋市 (2013)
	平成25年9月	30) 岡崎香奈・塩谷百合子・堀川千絵・高田由利子・松尾香織：「実習指導としてのスーパービジョンの方法について～スーパーバイザーの役割とは～」第13回日本音楽療法学会学術大会 自主シンポジウム 話題提供 米子(2013)
	平成25年12月	31) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」クラシック・ヨコハマ2013 横浜市 (2013)
	平成26年1月	32) 高田由利子・松尾香織：「表現アート体験」横浜市立阿久和小学校 講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市 (2014)
	平成26年9月	33) 高田由利子・井上勢津：「院内学級における音楽療法の実施」講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市(2014)
	平成26年9月	34) 高田由利子：「特別講義：音楽療法」講師 札幌大谷大学 北海道 (2014)
	平成26年9月	35) 高田由利子：第6回SAFERプログラム「音楽療法担当」講師 東京都 (2014)
	平成26年11月	36) 小澤基弘・高田由利子：「落書きを奏でよう」図形楽譜ワークショップ ファシリテーター 東京大学駒場キャンパス 公益財団法人石橋財団(2014)
	平成26年11月	37) 高田由利子：「音楽療法セミナー」講師 NPO法人 宮城ジョネット 仙台市 (2014)
	平成26年12月	38) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」ファシリテーター クラシック・ヨコハマ2014 横浜市 (2014)
	平成27年1月	39) 高木きっこ・高田由利子：「“目で聴いて、耳で観る”表現アート体験」講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市(2015)
	平成27年4月	40) 高田由利子ほか：「ミニシンポジウム：子どもが物語ることーことばと体から見えてくる子どもの世界」講師 上智大学 東京(2015)
	平成27年7月	41) 高田由利子・井上勢津：「院内学級における音楽療法の実践」講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市 (2015)
	平成27年10月	42) 高田由利子：「道民カレッジ連携講座 公開講座 音楽『音楽と健康について』」講師 札幌大谷大学 (2015)
	平成27年12月	43) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」ファシリテーター クラシック・ヨコハマ2015 横浜市 (2015)
	平成28年1月	44) 高木きっこ・高田由利子：「“目で聴いて、耳で観る”表現アート体験」講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市(2016)
	平成28年7月	45) 高田由利子・井上勢津：「院内学級における音楽療法の実践」講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市 (2016)

事 項	年月日	概 要
	平成28年9月	46) 高木きっこ・高田由利子・井上勢津：「“目で聴いて、耳で観る”表現アート体験」講師 公益財団法人 笹川平和財団 宮城県大船渡市(2016)
	平成28年9月	47) 高田由利子：「音楽のもつコミュニケーションの力ー音楽療法の視座から考えるー」講師 さつきサロン 東京(2016)
	平成28年9月	48) 井沢文緒・伊藤啓子・小柳玲子・高田由利子：「世界の音楽療法とつながろう2」自主シンポジウム1 話題提供者 日本第16回日本音楽療法学会学術大会 仙台(2016)
	平成28年10月	49) 高田由利子：「特別講義：音楽療法」講師 聖徳大学 千葉(2016)
	平成28年12月	50) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」ファシリテーター クラシック・ヨコハマ2016 横浜市(2016)
	平成29年6月	51) 高田由利子・井上勢津：「院内学級における音楽療法の実践」講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市 (2017)
	平成29年10月	52) 高田由利子：「特別講義：音楽療法」講師 聖徳大学 千葉(2017)
	平成29年10月	53) 高田由利子：「日本クリエイティブ・アーツセラピー学会(JCATA)第1回大会シンポジウム」講師 日本クリエイティブ・アーツセラピー 東京(2017)
	平成29年10月	54) 高田由利子：「認知科学会：芸術と情動のシンポジウム〈子どもと音楽〉」企画司会 東京大学 東京(2017)
	平成29年11月	55) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」ファシリテーター クラシック・ヨコハマ2017 横浜市(2017)
	平成30年6月	56) 高田由利子・井上勢津：「院内学級における音楽療法の実践」講師 横浜市芸術文化プラットフォーム 横浜市 (2018)
	平成30年10月	57) 高田由利子：「認知科学会：芸術と情動の分科会〈芸術×セラピー〉」企画・講師 東京大学 東京(2018)
	平成30年11月	58) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」ファシリテーター クラシック・ヨコハマ2018 横浜市(2018)
	平成30年11月	59) 高田由利子：「音楽と健康について～音楽療法の視点から健康について捉える～」一般社団法人日本建築医学協会 東京(2018)
	平成30年12月	60) 高田由利子：「特別講義：音楽療法」講師 聖徳大学 千葉(2018)
	2019年2月	61) 高木きっこ・高田由利子：「“目で聴いて、耳で観る”表現アートワークショップ」講師 上野国立西洋美術館 東京都(2019)
	2019年5月	62) 高田由利子：「出張講義：音楽療法」講師 北海学園札幌高等学校 北海道(2019)
	2019年6月	63) 高田由利子：「言葉を越えた表現の力」自主シンポジウム 日本心理臨床学会 神奈川(2019)

事 項	年月日	概 要
	2019年7月	64) 高田由利子：「出張講義：音楽療法」講師 帯広緑陽高等学校 北海道(2019)
	2019年7月	65) 高田由利子：「まちづくりを担う人材養成講座〈全2回〉：音・音楽を活用してコミュニケーション力を養おう！ ～音楽療法の視座から音を介して人と出会い・やり取りすることの意味について～」講師 美唄サテライトキャンパス 北海道(2019)
	2019年8月	66) 高田由利子：「出張講義：音楽療法」講師 美唄尚栄高等学校 北海道(2019)
	2019年9月	67) 高田由利子：「音楽療法について」講師 臨床美術ほっかいどう 札幌市民交流プラザ 北海道(2019)
	2019年10月	68) 高田由利子：「表現アーツセラピー体験」講師 昭和音楽大学 神奈川(2019)
	2019年11月8日	69) 高田由利子：「音楽と健康について～音楽療法の視点からウェルビーイングな生活について考える～」講師 介護予防事業千歳市民文化ホール(北ガス文化ホール)(2019)
	2020年1月18日	70) 井上勢津・高田由利子：「音遊びワークショップ&アート鑑賞会」ファシリテーター クラシック・ヨコハマ2019 横浜市(2019)
	2020年1月20日	71) 高田由利子：「出張講義：音楽療法」講師 札幌山の手高等学校 北海道(2020)
	2020年2月24日	72) 高木紀久子・高田由利子：「“目で聴いて、耳で観る”表現アートワークショップ」講師 東京都美術館 東京都(2020)
	2020年7月	73) 高田由利子：「出張講義：音楽療法」講師 北海学園札幌高等学校 北海道(2020)
	2020年11月	74) 高田由利子：「聴く×自己表現」講師 アート・クロスロード・プロジェクト東大附属学校生、自由の森学園生対象ワークショップ オンライン開催(2020)
	2021年10月	75) 高田由利子：「講義：音楽療法」講師 厚別高等学校 北海道(2021)
	2021年11月	76) 高田由利子：「講義：音楽療法」講師 北海学園札幌高等学校 北海道(2021)
	2022年1月	77) 高田由利子：「道民カレッジ連携講座 公開講座 音楽学科『音楽と健康について』」講師 札幌大谷大学(2022)
	2022年5月	78) 高田由利子：「講義：アートベース・リサーチにおける音楽療法アプローチの可能性について」講師 立命館大学(2022)
	2022年6月	79) 高田由利子：「講演：「ココロに効く、音楽の取り入れ方」講師 砂川市公民館 砂川市(2022)
	2022年8月	80) 高田由利子：「講演：臨床場面における〈聴くこと〉の意味について」講師 NPO 法人 和・ハーモニー音楽療法研究会 札幌(2022)
	2022年9月	81) 高田由利子：「講座：音楽療法：即興音楽がもつ療法的意味について」講師 表現アートセラピー研究所 東京(2022)
	2022年9月	82) 高田由利子：「学科公開特別講座：音楽療法における記録について～対象者の何を観て、どのように記録するのかについての一考察～」講師 名古屋音楽大学 愛知(2022)
	2023年5月	83) 高田由利子：「講義：アートベース・リサーチにおける音楽療法アプローチの可能性について」講師 立命館大学(2023)

事 項	年月日	概 要		
	2023年10月	84) 高田由利子：「講座：音楽療法について」講師 芸術療法研修セミナー 東京(2023)		
	2023年10月	85) 高田由利子：「シンポジウム：音楽が臨床音楽に変わるとき」講師 日本臨床音楽療法学会 神戸(2023)		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事 項	年月日	概 要		
1 資格, 免許	平成13年3月 平成18年6月	日本音楽療法学会認定音楽療法士 ノードフロビンス音楽療法士		
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. ケースに学ぶ音楽療法 I	共著	平成29年3月	岩崎学術出版社	音楽療法の事例『認知症高齢者への個人音楽療法』として、即興演奏を治療アプローチを用いたクライアントの内的世界の変容について治療過程を執筆
(学術論文) 1. Exploring the Meaning of Clinical Improvisation in Music Therapy-Professional Music Therapists Reflect Upon Clinical Improvisation	単著	平成17年5月	レズリー大学大学院表現療法学科音楽療法・メンタルヘルスカウンセリング科修士論文(2005)	音楽療法場面における臨床的即興音楽の意味についての研究。即興音楽を音楽療法の臨床場面に用いる音楽療法士6名にインタビューを行い、データは現象学的手法を用いてテーマ毎に分析された質的研究。主なテーマに「クライアントとの療法的な関係のプロセス」「即興を通じたセラピスト自身の成長」「直観」など
2. 「子どもと音楽療法 - 発達を支援する音楽の可能性を探る」特集 子どもと音楽の世界	単著	平成22年7月	小児歯科臨床 7月号 東京臨床出版 15 (7) 35-42. (2010)	小児歯科専門家や患者など、他領域の専門家や一般を対象とした音楽療法の概論的な論文。音楽療法の理論(定義, 歴史・文化・哲学的背景, 対象者の種類, 治療構造, 目的, 方法, 評価など)の理解を促し, 臨床例を用いて, 音楽療法の実際のプロセスについての理解を促した。
3. 「音楽療法の4つのアプローチをめぐって -各理論の特徴・長所・短所について- ノードフ・ロビンス音楽療法 (創造的音楽療法)	単著	平成24年3月	日本音楽心理学音楽療法懇話会 音楽心理学音楽療法研究年報第40巻 13-17. (2012)	平成23年6月に開催された「2011年度日本音楽心理学音楽療法懇話会【シンポジウム】世界4大音楽療法を考える-各理論の特徴・長所・短所について-」において, ノードフ・ロビンス音楽療法(創造的音楽療法)について発表した内容をまとめた論文。
4. 音大生の演奏表現の自覚性に及ぼす要因に関する実証的研究 -表現の自覚性教示と即興の教育的介入の効果に着目して-	単著	平成27年3月	東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻修士論文(2017)	音大生のような準熟達者にとっての表現の自覚性に影響を及ぼす要因を検証するため, 2要因配置(条件: 教示, 即興, 教示&即興の4水準被験者間要因と時期(プリテストとポストテストの2水準被験者内要因)として, 処遇(教示, 即興, 教示&即興)の有無におけるプリ/ポスト比較を行い, 結果をまとめた論文。

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 5. アクティブラーニングを促すための教育的介入におけるコラボレーションの効果について ーメディア・リテラシーにおける振り返りシートよりー	共著	2018年3月	札幌大谷大学社会学部論集第6号 113-129. (2018)	教育効果としてコラボレーションを通じたアクティブラーニングの可能性について, 振り返りシートの分析に基づき, 内容と方法について検証した論文
6. 音大生の演奏における表現の自覚性尺度の作成 (査読付き)	共著 (高田が第1著者、石黒千晶が第2著者、岡田猛が第3著者)	2019年5月発行	日本音楽知覚認知学会 25 (1) 21-28. (2019)	音大生のような準熟達者にとっての表現の自覚性に影響を及ぼす要因を検証するための質問紙を作成した論文。
7. 音楽療法の視座から臨床における創造的表現のプロセスについて	単著	2019年8月発行	臨床美術ジャーナル8 (1) 97-103. (2019)	即興演奏を治療アプローチとした認知症高齢者の個人音楽療法の事例を通して音楽表現がもたらす心理的変容について考察した論文。
8. 表現アーツセラピーを融合した音楽療法の可能性 (査読付き)	単著	2020年3月発行	音楽心理学音楽療法研究年報 第49巻 39-46. (2021)	高齢者の個人音楽療法に表現アーツセラピーの手法を融合させたケース・スタディー
9. 音楽療法の臨床場面観察時の熟達者と学習者の観点の差異 - セラピストとクライエントの相互作用に着目して - (査読付き)	共著 (高田が第1著者、清水大地が第2著者、岡田猛が第3著者)	2022年2月発行	日本音楽療法学会誌 第21巻 第2号 (2022)	音楽療法士養成の教育的介入について検討するためのリソースとなる研究。熟達者と学習者の観点の相違をカテゴリー分析により考察した原著論文。
(演奏) 1. 横浜CoMTコンサート 「みんなでつくる・みんなでかなでる～ノルウェーの風と共に」	共演	平成19年3月	かなつくホール 横浜市	第1部 音楽療法の臨床場面におけるピアノ即興演奏
(口頭発表) 1. 発達障害児への個人音楽療法 -クライエントとセラピストの相互関係の樹立まで	共同発表 (主発表者)	平成10年10月	臨床音楽療法協会 第6回学術大会 (神奈川)	発達障害児への個別音楽療法の症例発表。対象児とセラピスト(筆者)との相互関係が樹立するプロセスまでを時系列で示した質的分析における発表。
2. 「自閉的傾向」のあるA子への個人音楽療法	共同発表 (主発表者)	平成11年11月	第2回全日本音楽療法連盟学術集会 (岐阜)	「自閉的傾向」のある女児への個人音楽療法における対人関係の効果についての口頭発表。セラピストとの相互関係に焦点をあて、コミュニケーションの変容プロセスを分析した。

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(口頭発表)</p> <p>3. Exploring the Meaning of Clinical Improvisation in Music Therapy-Professional Music Therapists Reflect Upon Clinical Improvisation</p>	個人発表	平成17年9月	6 th Passages 米国音楽療法学会ニューイングランド支部大会 (米国マサチューセッツ州)	学術論文1の内容を口頭発表した。音楽療法場面における臨床的即興音楽の意味についての研究。即興音楽を音楽療法の臨床場面に用いる音楽療法士6名にインタビューを行い、データは現象学的手法を用いてテーマ毎に分析された質的研究。主なテーマに「クライアントとの療法的な関係のプロセス」「即興を通じたセラピスト自身の成長」「直観」など
<p>4. 異性の療法士がチームを組むときの療法的効果 -注意欠陥障害児A子の個人音楽療法の症例を通して</p>	共同発表 (主発表者)	平成18年10月	The International Conference of Creative Arts Therapies (国際芸術療法大会) 東京	ニューヨーク大学ノードフ・ロビンズ音楽療法センターでのトレーニングコースで担当した症例の口頭発表。異性のセラピストが組む事による治療的効果を心理療法的なアプローチにより分析した質的研究。
<p>5. A study examining the effect of educational intervention in facilitating “expressive awareness” among undergraduates majoring in music</p>	共同発表 (主発表者)	平成28年7月	The 31 st International Congress of Psychology	音大生の表現の自覚性についての研究。東京大学学際情報学専攻における修士論文のポスター発表。
<p>6. 「音楽療法における臨床的相互作用についての教育的介入の研究」</p>	共同発表 (主発表者)	2022年3月	第9回 顔・身体領域会議	音楽療法士養成についての教育的介入についての研究。